

第2回8月 東大本番レベル模試 英語採点基準

記述問題の採点は問われた内容にほぼ正しく答えているかどうかで判断することを原則とし、表記上の些細なミス（例えば、iの点やtの棒の脱落など）は減点しない。

配点表

大問	小問	配点	小問数	小計	大問ごと
1	A 要約	10	1	10	23
	B(ア) 記号	2	5	10	
	B(イ) 数字記入	3	1	3	
2	A 英作	12	1	12	22
	B 英作	10	1	10	
3	A 記号	2	5	10	30
	B 記号	2	5	10	
	C 記号	2	5	10	
4	A 記号 (完答)	2	5	10	22
	B(ア) 説明	4	1	4	
	B(イ) 和訳	4	1	4	
	B(ウ) 説明	4	1	4	
5	(A) 説明	3	1	3	23
	(B) 説明	3	1	3	
	(C) 和訳	3	1	3	
	(D)(ア) 記号	2	1	2	
	(イ) 記号	2	5	10	
	(ウ) 記号	2	1	2	
合計					120

【1】-A (10点満点)

【例1】

紅茶の普及はイギリスの産業革命に大きな役割を果たした。カフェインが労働者の活力を高め、また熱湯を使うことと紅茶に含まれる抗菌物質のおかげで、密集した都市での伝染病の蔓延が防がれ、労働力が確保されたからである。(104字)

【例2】

イギリスで産業革命が成功した理由の1つに紅茶の普及がある。紅茶のカフェインは長時間労働を可能にした。また、煮沸した水を使い、抗菌作用のある物質が含まれるため、紅茶は感染症の流行による都市の人口減少を防ぎ、労働力の供給に貢献した。(114字)

必須項目 (10点)	<p>① 「産業革命が18世紀末のイギリスで起こった理由」(4点) ... the Industrial Revolution. Why did this particular Big Bang — the world-changing birth of industry — happen in Britain at the end of the 18th century? ▶ 「産業革命」(the Industrial Revolution)がないものは2点減点。 ○ 「工業革命」は減点しない。 ▶ 「イギリス」(Britain)がないものは2点減点。 ○ 「英国」でもよい。 × 「ブリテン/Britain (英語のまま)」は「イギリス」と認めない。</p> <p>② 「18世紀後半から19世紀初頭にかけて紅茶が一般大衆に入手可能になった」(2点) Throughout the late eighteenth and early nineteenth century, decreased taxes on tea and more efficient transportation technology made tea widely more available to the general public. ▶ 「紅茶が一般大衆に入手可能になった」(made tea available to the general public)に相当するものがないものは2点減点。 ○ 「紅茶の普及/人々がお茶を飲むようになった」でよい。</p> <p>③ 「最も重要な紅茶の利点は感染症の大流行を防ぐ力だった。(紅茶の普及により)産業革命に必須だった労働力を確保することができた」(4点) However, one of the most important, yet often underrated, advantages of tea was its ability to prevent mass pandemic. ... As a result, the workforce remained high, and employees were constantly available for factory work. The large supply of workers was critical to the continuation of the Industrial Revolution, ... ▶ 「感染症の大流行を防ぐ」(prevent mass pandemic)に相当するものがないものは2点減点。 ○ 「伝染病/感染症」(epidemics)は「感染症の大流行」と認める。 × 「病気」だけでは「感染症の大流行」と認めない。 ▶ 「労働力」(workforce)に相当するものがないものは2点減点。 ○ 「労働人口」「労働者/働く人/工員」は「労働力」と認める。</p>
---------------	---

- ① 内容の不足は上記配分で減点。内容の順序は問わない。
- ② その他、誤訳、不適切な表現は程度に応じて1～2点減点。
- ③ 字数制限を満たさないものは0点。

【1】-B (イ) (3点満点)

20,000 以外不可。カンマは不問。

※ 「数字」以外を含むもの (20 thousand / twenty thousand など) は認めない。

【2】－A (12点満点)

【例1】

I will choose a job that I like to do, even if I don't get paid much. I have to support myself financially, but I don't need to be a billionaire. I've always wanted to contribute to society through my work and feel useful. So I'd like to have an occupation where I can help people in need, even if it is not a high-paying one. I'm sure that fulfillment, rather than money, will make me happier. (77 語)

(私は給料が多くなくても自分の好きな仕事を選ぶ。経済的に自立しなければならないが、億万長者になる必要はない。私は仕事を通じて社会に貢献して、役に立っていると感じたいとずっと思ってきた。だから、たとえ給料の高い仕事でなくても、困っている人を助けることができる職業に就きたいと思っている。お金よりも充実感の方が、きっと私を幸せにしてくれるだろう)

【例2】

I will pursue what I like to do, because job satisfaction affects your happiness in life. Certainly, a high salary can be part of job satisfaction. But if you don't have a passion for your work, you won't be able to improve your skills, and as a result, you won't have a full sense of accomplishment or satisfaction. By contrast, if it's something you love, you can be passionate and feel satisfied even if it's not highly paid. (78 語)

(私は自分のやりたいことを追求する。仕事の満足度が人生の幸福度に影響するからだ。確かに、高い給料は仕事の満足感の一部にはなるだろう。しかし仕事に対する情熱がなければ、スキルアップできないし、その結果、達成感や満足感を十分に得られないだろう。逆に、自分が大好きなことなら、高給でなくても、情熱を持ち、満足感を得ることができる)

【例3】

I will choose a high-income job, even if I don't like it very much. I have to become financially independent after graduating from college, so I need to prioritize income whether I like it or not. Moreover, with money to spare, I'll be able to have more choices. For instance, I can travel abroad and broaden my views, or I can go to graduate school and pursue a different career path. A well-paying job will enrich my life. (78 語)

(私は、あまり好きではなくても高収入の仕事を選ぶ。大学を卒業したら、経済的に自立しなければならないから、好きかどうかは別にして収入を優先しなければならない。さらに、お金に余裕があれば、選択の幅を広げることができるだろう。例えば、海外を旅して視野を広げたり、大学院に行って別の進路を追求することもできる。高収入の仕事は、私の人生を豊かにしてくれるだろう)

【例4】

I would choose a high-paying profession. While some people have succeeded by doing something they love, others have become successful by doing something they had little interest in at first. The latter are those who grew to love their job as their skills improved. Both types of successful people have one thing in common: they worked harder than others. I've yet found nothing I really love to do, so I want to motivate myself with a high income. (78 語)

(私なら収入の高い職業を選ぶだろう。好きなことをして成功した人もいれば、最初はあまり興味がなかったことをして成功した人もいる。後者は、スキルアップしていくうちに仕事が好きになっていった人たちだ。どちらのタイプの成功者にも共通していることがある。それは人一倍努力したことだ。私は本当にやりたいことがまだ見つからないので、高収入でやる気を奮い立たせたいと思う)

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。
2. 語数制限(60～80語)を満たさないものは**0点**。
3. 内容面で下記に該当するものは、それぞれ該当の点数を減点。

ポイント1 「好きなことだが比較的収入の低い仕事」または「好きなことではないが収入の高い仕事」(6点)

* 「好きなことだが比較的収入の低い仕事／好きなことではないが収入の高い仕事」に無関係なものは**6点減点**。

ポイント2 「(どちらを選ぶかの)理由」(6点)

* 「(どちらを選ぶかの)理由」がないものは**6点減点**。

* 論旨が一貫していないものは**3点減点**。

【2】－B（10点満点）

【例1】

But it is just like the lessons which old people, after reflecting on their past mistakes, give to young people so that those who come after them will not make the same mistakes.

（しかしそれはちょうど、老人が自分の過去の過ちを顧みたあとに、自分たちの後から来る人々が同じ過ちを犯さないように、若者に与える教訓のようなものである）

【例2】

But it seems somewhat like one of the lessons that the old, recalling their own mistakes in the past, provide for the young in the hope that younger generations would avoid the same mistakes they made.

（しかしそれは、年配者が過去の自分たちの過ちを思い出しながら、若い世代が自分たちが犯したのと同じ過ちをしないことを願って、若者に与える教訓の1つのようなものに思える）

【例3】

However, it is like a kind of lesson that the elderly teach to young people. They look back on their past mistakes, and warn those who follow them not to make the same mistake that they did.

（しかし、それは年配者が若者に教える一種の教訓のようなものだ。彼らは過去の過ちを振り返り、後続く人々に自分たちと同じ過ちを犯さないように警告するのだ）

1. 文法・語法・綴りの軽微な誤りは**1点減点**、重大な誤りは**2点減点**。同じ誤りでもすべて減点。

2. 次の①～⑤の区分を目安に得点（各2点）を配分する。

- | | | | | |
|---|--------------------|------|--------|------------------|
| ① | けれどもそれは、 | ちょうど | _____ | に似ている |
| ② | | 老人が | _____ | 青年に対して与える教訓 |
| ③ | 自分の過去のあやまちを振り返りながら | | | |
| ④ | | | 後に来る者が | |
| ⑤ | | | | 再び同じあやまちをしないようにと |

【4】－B（ア）（4点満点）

<問題>

下線部(ア)は 60 字以内で内容を分かりやすく説明せよ。

an explanation that is obvious to the crier may be lost on the person whose shoulder is getting wet.

<解答例>

泣いている当人には泣く理由がはっきりわかっているけれど、泣きつかれている相手にはそれがさっぱりわからないことがある。(58 字)

<別解例>

泣いている人にとっては明白な涙の意味も、それを肩で受け止めている側の人には、その意味がわからないかもしれない。(55 字)

① 字数制限を守っていないものは0点。

② 次の(1)(2)(3)が必須項目。

(1) 「泣く人にとっては明白な、自分が泣く理由」に相当するもの(これがないものは**2点減点**)

× crier (泣く人) の誤解は不可。

(2) 「泣く人が流す涙で肩が濡れている人」に相当するもの(これがないものは**1点減点**)

○ 「泣いている人を慰めている人／泣きつかれている人」でもよい。

× the person whose shoulder is getting wet を「泣く人」ととっているものは不可。

(3) 「泣きつかれている側には 不明である」に相当するもの(これがないものは**1点減点**)

○ 「不明である」は「わからない」「迷う／見失う」など可。

【4】－B (イ) (4点満点)

<問題部分> 下線部(イ)を和訳せよ。

It is the infant who believes it will be picked up that cries, motivated by its fear that it will be left alone.

<例 1>

泣くのは、抱き上げてもらえるだろうと信じている幼児であり、一人で放っておかれるのではないかという不安に駆られて泣くのである。

<例 2>

一人取り残されることへの恐れを感じて泣くのは、抱き上げられると信じている幼児である。

区分	配点	具体事例
It is ... that cries 泣くのは…である	1点	×強調構文だとわかっていないものは不可。
the infant who believes it will be picked up 抱き上げられると信じる幼児	1点	×who が主格の関係代名詞だとわかっていないものは不可。 ×it を the infant 以外ととっているものは不可。
motivated by its fear 不安にかられて	1点	×分詞構文 (副詞句) だとわかっていないものは不可。
that it will be left alone ひとり残されるという	1点	×the fear と同格だとわかっていないものは不可。 ×it を the infant 以外ととっているものは不可。 ×alone の訳抜けは不可。

- ① 上記の区分に分けて配点。
- ② 語句の誤訳、訳漏れ、英語のまま、不自然なカタカナ書きは減点。
- ③ 構文を理解した上での意識と認められるものは減点しない。

【4】－B（ウ）（4点満点）

<問題>

下線部(ウ)は50字以内で内容を分かりやすく説明せよ。

tears redirect them

<解答例>

泣くことは、精神的苦痛から身体的動作へと注意を向けることで、感情的な苦しみを和らげてくれる。(46字)

<別解例>

泣くことによって、意識が思考から身体の方に移るので、精神的苦痛を取り除くことができる。(43字)

① 字数制限を守っていないものは0点。

② 次の(1)(2)が必須項目。

(1) 「泣くことは 思考から身体へと注意を移す」(shift our attention from our thoughts to our bodies)に相当するもの（これがないものは**2点減点**）

× 「体」(bodies)に相当するものがないものは不可（－2点）。

○ 「精神から肉体へ移る」という意味合いであれば認める。

(2) 「感情的苦痛を洗い流す」(wash away the emotional pain)に相当するもの（これがないものは**2点減点**）

○ 「感情的な苦痛からそらす」でもよい。

○ 「感情的」は「精神的」でもよい。

× tears redirect them の them を our emotions 以外ととっているものはこの項目で減点（－2点）。

【5】－(A) (3点満点)

<問題>

下線部(A)の意味を、the move の具体的な内容がわかるように述べよ。

Kiki was up for the move

<解答例>

キキはイスタンブールからカッパドキア [ボーイフレンドの故郷] への引っ越しに乗り気だった。

<別解例>

キキは西洋化した都市から、昔風の村へ移ることに意欲的だった。

① 次の (1) (2) が必須項目。

- (1) 「イスタンブールからカッパドキアへの引っ越し」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)
×「引っ越し」だけで「イスタンブールからカッパドキアへ」に相当するものがないものは不可。(－2点)
○「イスタンブール」は「都市」でもよい。
○「カッパドキア」は「ボーイフレンドの故郷／昔風の村／田舎」でもよい。
- (2) 「乗り気だった」に相当するもの (これがないものは**1点減点**)
○「引っ越しに賛成した」という意味合いであればよい。
○「(引っ越し) することにした」は「乗り気だった」と認める。
×過去時制でないものは不可。

【5】－(B) (3点満点)

<問題>

下線部 (B) の理由をわかりやすく説明せよ。

No one complained to her

<解答例>

キキの気難しい側面がまた現れるのを、みな恐れたから。

<別解例>

10代の頃の気難しさが再び顔を出すのをみな恐れたから。

① 次の (1) (2) が必須項目。

- (1) 「キキの気難しい側面がまた現れる」に相当するもの (これがないものは**2点減点**)
○touchy (気難しい／やっかいな) か bad temper (不機嫌) に相当するものがあればよい。
○「また現れる／再び顔を出す」はなくてもよい。
- (2) 「恐れた」に相当するもの (これがないものは**1点減点**)
○afraid of ~ (～を恐れて) に相当するものがあればよい。
○「また現れるといけないから」は「恐れた」と認める。

【5】－(C) (3点満点)

<問題>

下線部 (C) を和訳せよ。

possibly the same ones she'd left home in

<例1>

もしかしたら、家を出たときと同じ服装だったかもしれない

<例2>

ことによるとトルコへ旅立ったときと同じ格好で

区分	配点	具体事例
possibly the same ones 同じ服装だったかもしれない	1点	×possibly の訳抜けは不可。 ○ones は「もの/ジーンズ/タートルネック」なども可。
(that) she'd left home in 家を出たとき着ていた (のと同じ服装)	2点	×目的格関係代名詞の省略 (ones を修飾する節だと) がわかっていないものは不可 (－2点)。 ×in の誤解 (関係代名詞を目的語とする前置詞だとわかっていないもの) は不可 (－2点)。

・各区分の配点を超えて減点しない。区分内に1か所でも誤りや訳漏れがあればその区分は0点。